

# 全世界に広めよう正法

(北海道妙寿寺檀信徒)

池 上 宗 俊

ただいまご紹介いただきました池上でございます。皆さんお手元に渡っているレジユメのタイトルに、「全世界に広めよう正法」という題名にしましたが、今回の運動であります立正安国お題目結縁運動にも繋がってまいりますので、まず始めに、身近な私達のお寺の活動状況などを含めて述べさせていただきます。何せ不慣れなもので時間内に終わらなかつたら申し訳ございませんので、原稿の棒読みになるかと思えますけど、よろしくお願い致します。本年度で終戦六十年という節目を迎え、宗門運動として日蓮聖人が一生を通じ、法華経の活動の根本とされた立正安国を根底に立正安国お題目結縁運動が、ご降誕八〇〇年の慶年に向かって、新しい宗門運動が始まりました。私達檀信徒において、非常に難解な問題です。新しいものに挑戦し、活発に檀信徒が長く息切れせず運動を効率よく持続していかなければならないと思っております。ここで、前回の、お題目総弘通運動は十八年間の長きにわたり、平成十五年に終わりましたが、この弘通運動は、立教開宗七五〇年にあたる平成十四年に向かって推進されたことでもあったので、寺院の施設整備に重点があつたように思われます。日蓮宗新聞を見ていると、各地で寺院、庫裏、客殿などの新築、改築、増築の工事や銅像の建立の記事が多く目に付きました。特に寺院や庫裏の施設は、お寺と檀信徒の中枢機能を果たす重要なものです。これらの施設を今後如何に生かしていくかは、住職一人に任せるのではなく、檀信徒も責務の一端を担って活発に活動を進め、次世代へ伝え、信仰の核としなければならぬ重要な施設だと思っております。前回の運動が、檀信徒は宗門に対してどのような意識変化があつたのか、また信徒の数や寺院、教会や

結社の数がどのくらい増えたのか、数字で表わすことができるものは、数値で、その他宗勢を分析し、一度全体を見直し、総括していただけないのでしょうか。今回の「結縁運動」を推進する上でも有効に役立つのではないかと考えています。また最近では、高齢化と少子化が進み、将来信者の減少が見込まれる恐れもあります。このような状況の下で、信者を増やしていけるか、ということに私達の護持会の役員は真剣に考えています。私共のお寺では、婦人部による和讃講や、八十年間連綿として休むことなく続けています寒修行があります。檀信徒とお寺が一丸となり、小さな一歩ですが、法華経流布に役立てばと願い、他宗の人々に法華経を伝え、この世は正法の世界となり現世が平和で安穏な日々を暮らせますことを一心から願い、今回の結縁運動にも結びつくよう、今後も実践していきます。また、今年から次世代を担う若人や檀信徒以外の人や、地域の人々も気軽に参加できるようにと、若手の役員さんが「蓮華会」を結成し、万灯講を始めました。境内は賑やかな笛や太鼓、鉦、纏いの振り方など楽しみながら教え合っています。当初お教えいただきました千葉県柏市の妙照寺の瀬川寛常副住職様には、当地に泊まり込みで懇切丁寧なご指導の下、成果は抜群で、もう何年も前から当寺に万灯講があったかのような腕前になり、檀信徒一同感心しています。これから順調に軌道に乗ることを願って、奮闘努力している最中です。これも今回の「結縁運動」の一環として、お題目の功德を未信者に伝え広める力となるという思いは強く感じています。発足間もない会ですが、猛練習の成果は確実に上がっていますので、他寺からお声掛けがあり、腕をふるい、大役を立派に務めてきていますので、更なる高い水準を目指し、がんばっています。また多人数が必要な行事には一ヶ寺で行うのが困難な場合が多々あると思います。地域の檀信徒協議会を通じて、各寺の年間活動の予定を知る方法を講じ、相互に呼び掛け合い、積極的に参加協力し合えることになれば、各寺の檀信徒同士の親睦にも役立てることにもなると思いますので、各寺の総代長の方に是非、ご考慮をお願い致します。また私共のお寺では、五年前から勉強会も行っています。私達習う立場からお願いがあります。未信者の方に日蓮聖人の尊いみ教えを伝えるためには、まず、私達自身がよく理解し、知って

おかなければなりませんので、初級用、中級用、上級用へと整合性よく繋がって行く教科書的なものができないでしょう。教育課程レベルに合わせたカリキュラムがあれば予習復習もできます。生徒側の年齢のばらつきやレベルの差が大きいので、教える側のお上人さんの労苦も減り、授業時間も有効に使うことができますし、自宅にあつては好きな時間に自習もできるのではないのでしょうか。是非、こういう教科書的なものを作っていたらいいと思います。さて、今年から、宗門では、新たに「立正安国お題目結縁運動」が四月一日から始まりました。「日蓮宗新聞」の論説、八月二十日号によりますと檀信徒にエールを送られています。第一に、伝統にあぐらをかかず新しい命を吹き込み、伝統を活性化し維持すること、二番目にマニュアルやモデルなど、ないと覚悟し自己満足だけに終わるような格調の低さに甘んずるな、三番目に、日蓮聖人の示された大命題の立正安国が方針であるから、各現場ごとに各種各様、生き生きとした目標に向かって到達すべきゴールを持って、四番目に、方針に叶うものなら失敗を恐れず、正法の理想像であれば、かつてこの世に現れたことのない構想でも大胆に挑戦的に打ち出してもいいのではないかと、以上が要約です。この論説を読み今回の結縁運動の在り方が大変良く理解できたような次第でございます。現在の世相は我が国のみならず、諸外国も混迷を極め憂慮すべき困難な時代に入っています。自然環境破壊や地球温暖化などは、「立正安国論」で述べられている異常な人心の荒廃により、「正法を毀壞して、人間や天上の道を傷つけるなら、諸天善神は、皆この悪国を捨て、余処へ行ってしまう」と述べています。人類にとって最大の愚かな行為は戦争です。日本人は第二次世界大戦で苦しい勉強をしたはずなのに、学習が少なかったのか、戦後六十年を経てすっかり忘却したかのように今、「憲法改悪」の方向に走り出しました。本当に危険です。日蓮聖人のみ教えに照らして間違いがあれば、宗門を挙げて阻止しなければなりません。地球上から戦争をなくし、この世を安穏な正法の仏国土の世界にしなければなりません。全世界に「正法」を知ってもらい、教化するにはより効果的な方法として、世界中の人々に、感動を与えるものとして、映像によるものが一番と考えます。映画やアニメーションで表現すれば、影響力

のあるものと思えます。昨年、五月、ハリウッド映画の「パッション」が上映されました。上映前からセンセーショナルな話題が伝わっていましたので、鑑賞された方々も多いと思います。俳優のメル・ギブソンが監督、製作、脚本を手がけた大作で、イエス・キリスト最後の十二時間と復活を描いた衝撃的な作品で、彼が十二年もの構想の歳月を費やし、映画化し、約二十七億円という、私財を投じて製作したが、五日間の興行収入が約百三十七億円にも上がった大作であることが、証明されました。我が日蓮宗宗門で、ハリウッド映画に遜色ないものを作つて、世界各国で上映できるプロジェクトを十年計画で、考えるならば、資金の面でも無理なく浄財を集めることが可能です。『宗教年鑑』によると日蓮宗檀信徒数は三百八十一万人、一人八百円を目安にすれば、三十億円になります。全国の日蓮宗寺院、教会結社の数が五千八百二十二ヶ寺、一ヶ寺あたり平均六十万円で、三十億円になります。これを十年間でご寄付いただければ、無理のない基金を作ることができます。これを一回限りでなくシリーズ化することで、現在海外にある三十三カ所の拠点の増設や、教化の一助にも役立つと確信していますし、さらなる飛躍を望めます。財団法人仏教伝道教会発行の、「各国語仏教聖典」は、三十六ヶ国語に翻訳されていますので、諸外国においても「仏教」に対する考え方や、理解も浸透し、親しみを持っていると思います。日蓮聖人は一身を投げ出し、「仏の使い」として生きた聖人の生き方と、そのみ教えを今こそ真の宗教が必要な時です、現在の世相は混迷を極め、憂慮すべき困難な時、この世界を浄土としていくため、「正法」を一丸となつて手を繋ぎ、「法華経」の精神をしっかりと保ち実践していくことが、今回の「立正安国お題目結縁運動」に繋がるものと堅く信じます。国を超え、民族を超え一日も早く立正安国の世界が実現されることを願つてやまない次第であります。以上でございます、ご静聴ありがとうございました。南無妙法蓮華経。